



理念

- (1) 県教育委員会、静東教育事務所人事異動方針/H31基本方針
- (2) 熱海市学校教育の基本方針
- (3) 心を整え、耳を澄まし、顔をあげ、言葉と行動を磨く。
 - ・きびしさ、やさしさの質の高さを自負しよう。
- (4) すべての生徒に「安全」「学習」「人権」の保障し、
「生徒の姿」で熱中の教育を語る実践を目指す。
 - ・共に生きる（学ぶ）喜びを分かち合える**感性あふれる学校**に。
 - ・生徒に高いレベルの学びに**挑戦**する機会を提供しよう。
 - ・教師も学び合おう！（生徒や同僚と）お互いに認め合って支え合う 集団づくりを。
 - ・生徒に寄り添う、丁寧で誠実な**熱海の生徒指導**を継承する。

学校経営目標

一人一人が互いに心を添え、安心して安定した人間関係を構築し、目指すものの共有や個々の力を大切にし、充実した人生・成長する先端（自立・貢献）となれるよう的確な判断をする。
 （その結果、レジリエンスの向上が見られる）

(1) 学級づくりを大切に。理想的な活動を行い、子どもを感じ・聴き、日常の対話をとおして、信頼を積み重ねる。

(2) 学びの質を高め、「授業での対話」を意識する。対話をとおし、探求的な学びや効果的な活動になるように、課題や小グループ等の授業デザイン、流れ・受け応えを大切に授業をする。また、移行期を意識した授業実践を組み立てながら、定着を意識した授業やドリル学習などもうまく取り入れる。

教育課題

- ・生活基盤、学習基盤が十分に 身につけていない生徒もいる。学力の差（二極化）が激しい。
- ・レジリエンスの数値も低く、問題解決の能力も低い傾向がある。心理的な問題は、気力減退や身体不調に陥り、解決できずに、長く引きずることもある。



学校教育目標

思うようになる 今どう思い、どう過ごす



重点目標

- 知：真剣に学習に向かい、理解を着実にし、主体的に学び合い探求する子
- 徳：よいイメージと向上心もち、人と支え合う心豊かな子
- 体：自らを知り、鍛え、たくましい心身をつくる子

ここにいるみんな、自分を誇ろう。熱海中学校を誇ろう。熱海市を誇ろう。

学び：対象（教材）との出会いと対話
 自己との出会いと対話
 他者（仲間や教師）との出会いと対話（問題解決）

対話的な学びを目指して

授業は高く設定された内容レベルと、教室でもっともわからない子どもの問いのレベルとの間の大きなギャップを、教師と子どもたちが協同で埋めていく実践である。個々の人が主体でありながら、決して一人ではできない他者との対話（考えや意見の多様性）を通して追求していく。そこで各教科・単元の特徴を生かしながら、「**対話的な学び**」を追究する。学級づくりをとおして、対話を生むための環境づくりに努める。子どもの姿から授業の検証をし、対話にするための課題や発問の工夫など、固定概念を覆すような実践をしたい。

PTA活動・桃陵会・同窓会

- ・PTA活動の充実
 （強歩会・立志式など伝統として残っている特色ある学校行事への参加・協力）
- ・デジタル デドックスの啓発

連携

梅香の会(小中の連携)

各地区の地域安全コミュニティ
 各地区の青少年健全育成会
 警察ボランティア
 保護司・民生委員 市立図書館
 東・中・西・伊豆山地区町内会

熱海中の対話的な学び



